

# 国民健康保険税の口座振替が便利です

☎税務課 徴収対策班  
☎ 0820 (74) 1031

国民健康保険は、加入者全員が保険税を出し合い、必要な医療費に充てる助け合いの制度です。後期高齢者医療制度や職場などで保険に入っている方を除き、誰もが国民健康保険に入ることが義務付けられています。

本町において、国民健康保険税の収納率は低下しており、国保財政は厳しいものとなっています。このことから町では「周防大島町国民健康保険収納対策緊急プラン」を策定し、収納率の向上を図ることとしています。

このプランにおける具体的な改善策として、口座振替推進月間を実施し、一層の徴収率の向上を図るとともに国民健康保険財政の安定化を目指します。

## ■申込手続きの方法

町内の取扱い金融機関に、申込用紙が備え付けられていますので、その場で必要事項を記載のうえ、お申し込みいただけます。

町外の店舗には、申込用紙を備え付けていないので、あらかじめ税務課にご連絡いただければ送付させていただきます。申込用紙の記入方法が分からない場合は、お気軽にお問い合わせください。

## ■手続きに必要なもの

預貯金通帳、預貯金通帳の届出印

### 【取扱金融機関】

山口銀行、山口県農業協同組合、北九州銀行、山口県漁業協同組合（東和町支店）、西京銀行、ゆうちょ銀行・郵便局

## 中高一貫教育だより ①

周防大島地域では県内唯一の連携型中高一貫教育を行っています。推進目標として「地域の生徒を地域で育てる教育の実践」を掲げ、この目標を達成するために、久賀中学校、大島中学校、東和中学校、安下庄中学校の町内4中学校と、周防大島高校が一体となって様々な取り組みを行っています。ここでは隔月でその取り組みを紹介していきます。

### 第1回中高一貫教育合同研修会

4月4日、第1回中高合同研修会を行いました。この会では中高一貫教育に関わる全ての教員、町教育委員会、県教育委員会担当者が一堂に会し、中高一貫教育の理念を共有しました。全体会では、連携型中高一貫教育の仕組みや昨年度までの取り組み等についての説明がありました。教科部会では、子どもたちの学力向上を目指し、質の高い交流授業を展開するために今年度の課題や実践目標について協議しました。分掌ごとの専門部会では、「中高教育の滑らかな接続」を目標に話し合いが行われました。

### 「交流授業」スタート

5月7日から中高の教員が相互に訪問し、複数の教員で学習指導を行う「交流

■問い合わせ 周防大島高等学校  
☎ 0820 (77) 1048

授業」が始まりました。中学校教員による高校での交流授業は数学・英語・国語の3教科で一年生の授業を中心にを行っています。生徒の主体的・対話的で深い学びを促し、一人ひとりを大切にする授業を中高教員の連携により展開しています。

高校教員による連携四中学校での交流授業は、国語・数学・英語・音楽・保健体育の5教科で行っています。中高の教員が連携して効果的な授業展開を研究し、中学生の基礎学力の定着や、より発展的な学習を通じた応用力の伸張を目指しています。

授業後に中高教員がその日に行った授業の内容について協議することで、教員の授業力や指導力の向上にも大変役立っています。



▲交流授業の様子